

# 実践事例01

## 通級指導担当者の 専門性向上を目指して

# Ⅰ 推進センターの現状

- ・初めて通級指導担当になった教員  
経験の浅い教員
- ・児童生徒の多様なニーズに応じた指導についての実践的な研修
- ・通級指導担当者相互の指導参観や授業公開、意見交流などの研修方法の見直し
- ・通級指導経験が長くなった教員のアップデートや実践を深める機会



# 専門性とは…

アセスメント

児童生徒の  
見立て

個に応じた  
手立て

教育相談で  
の対応力

あつい「心」

個に応じた  
教材教具

他機関との  
連携



あたたかい「まなざし」

指導法

想像力

長期的  
ビジョン

短期的  
ビジョン

個別の指導  
計画の作成

# 2 研究の柱



オンライン（主にMEET）による

- (1) 公開授業・研究協議
- (2) 研修会の開催
- (3) 他県の通級指導教室との情報交換
- (4) 大学等の先生との研修会
- (5) 先進校視察あるいは受講した研修報告

# (1) 公開授業について

◆ 目的: 指導の振り返り、他の教員からの助言等を今後の指導に生かす。

ポイント① 多面的かつ多角的なアセスメント

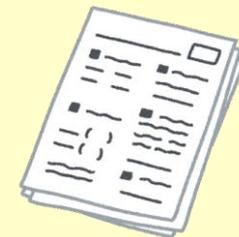
ポイント② アセスメントに応じた

効果的な指導や支援、指導法、教材教具



# 準備するもの

## ①個別の指導計画（各校の様式）



- ・児童生徒の様子 ・自立活動の区分と項目
- ・長期目標 ・短期目標 ・手立て

## ②授業の流れ



## ③オーダー表



- ・困っていること ・悩んでいること ・参観者から助言がほしいこと

★目標・手立ての設定根拠になる様子は必須であるが、家庭、学級、関係機関(放課後等デイサービス、医療、学童)など、その他の様子も資料としてまとめて提示してもよい。個人情報の取扱いは注意する。

(別紙1)

①個別の指導計画

令和6年度 個別の指導計画(小学校2年 男児)					
					小学校 通級指導教室
					初回相談日
					作成日
					作成者
1 指導目標を達成するために必要な項目		障害種別: 学習障害		診断名: なし	
項目	1健康の保持	2心身の安定	3人間関係の形成	4種類の把握	5身体活動
		障害による学習上の困難を改善・克服する意欲		感覚や認知の特性についての理解と対応	
2 児童の様子(目標・手立ての設定根拠)					
課題		興味・関心、長所・強み		その他	
①カタカナの書きが未定着。(習得15文字) ②文字を想起することが難しい。 ③学習定着に時間を要する。 ④注意集中できる時間が短い。		⑤キーワード法「あひるの『あ』」や視覚的イメージが記憶と想起に効果的。 ⑥数値での評価が意欲につながる。 ⑦ポケモンが好き。 ⑧ICT機器を使った学習に興味がある。		検査: WISC-IV FSIQ83 VCI85、PRI88、WMIS I、PSI94	
3 指導計画					
長期目標 自分に合った学習方法を受け入れ、カタカナや既習漢字を習得することができる。					
	短期目標	評価	手立て・配慮(指導者の意図)	評価	主な教材・教具
1学期	①カタカナを正しく表記することができる。		②⑤・記録や想起の手助けとなるようイラスト付カードやひらがなの類似性を示したカードを活用する。 ⑥習得できた文字を表にまとめ、文字数を示す。 ⑦モチベーション維持のために、本人の好きなキャラクタープリントで書字練習をする。 ⑧⑨定着を促すために、アプリでの学習を取り入れる。		-イラスト付カタカナカード -カタカナ表 -ポケモンプリント -iPad(アプリ)

②指導の流れ【例】

◆日時 令和6年5月14日(火)8:40~9:25(1単位時間)

◆流れ

	学習内容	使用教材
1	カタカナ(読み)の確認	イラスト付カタカナカード
2	カタカナ(書き)の習得状況確認	カタカナ表
3	カタカナ5文字の練習 ①覚え方 ②空書き ③書字練習	イラスト付カタカナカード ポケモンプリント
4	カタカナ 書き練習	iPad(アプリ)
5	神経衰弱	カタカナカード



オーダー表(例)

(別紙2)

日時 令和6年6月19日(水)

①児童の様子で気付いたことを教えてほしい。(強み、課題など)

②児童の興味関心、強みに応じた手立てになっているか。その他の手立てが知りたい。

③児童の認知特性や意欲、自己支援につながる教材教具になっているか。効果的な教材教具が知りたい。

その他(個別の指導計画作成、指導の流れ、時間配分 など)



# 公開授業までの流れ

◆ 推進センター職員のGoogle Classroomを作成。

- 1 ①②③を準備する。
- 2 ①②の検討あるいは確認を各教室で行う。
- 3 指導の動画を撮影する。
- 4 Classroom に動画をアップロードする。(7日前)  
①②③を市内メールシステムで送る。(7日前)

※各自で①②③を印刷する。

※授業者以外は、協議当日までに動画と資料を見ておく。



# R6 通級



Meet

参加

👁️ 生徒に表示

クラスコード



期間間近

提出期限の近い課題はありません

すべて表示

クラスへ

6月13日

第3回MEET研修講  
6月13日(木) 1

「分かった!できた

今回の研修講座は  
詳しくは山本先生ま



クラスの

8月19日

8月26日(月)のビデオ研修よろしくお願いします。  
※予定していた指導の録画日(7月4日)に児童が欠席したため、前の指導(6月27日)の動画です。記録で録画していたもので、見えにくいところや切れている場面もあります。すみません。指導の流れ(7月4日と6月27日分)をC4thで送らせていただいています。よろしくお願いします。

ICT動画 .mp4  
Windows Media Player

7月10日

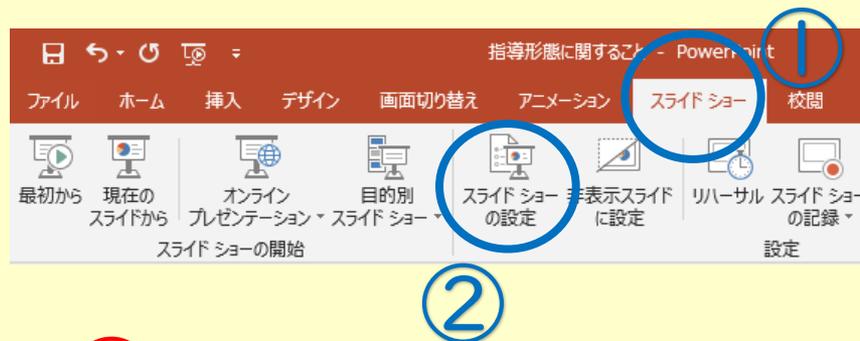
遅くなってしまい、申し訳ありません。  
7月17日のビデオ研のビデオです。  
お時間があるときにご確認のほどよろしくお願いいたします。

朝来た時のあいさつ R6. 7. 1...  
動画

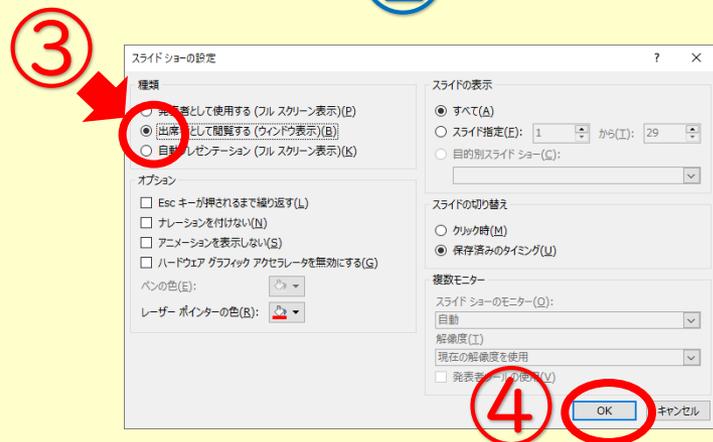
# 画面共有時の設定①

## (1) PowerPointを開く

①【スライドショー】を押す。



②【スライドショーの設定】を押す。



③【出席者として閲覧する】にチェック(●)を入れる。

④【OK】を押す。

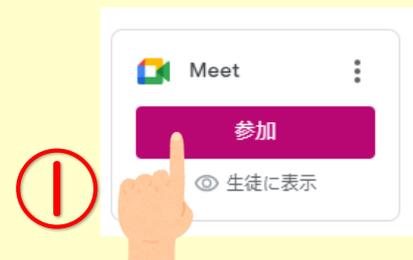
⑤スライドショーにする。



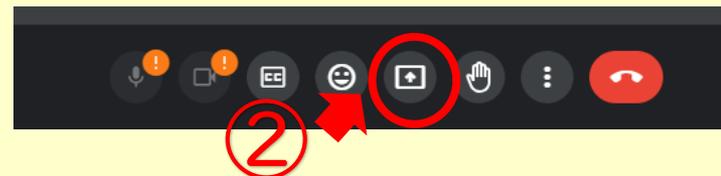
# 画面共有時の設定②

## (2) MEETの接続

① ClassroomからMEETに参加する。



② 画面共有ボタンを押す。



③ 「ウィンドウ」  
「PowerPointスライドショー」  
を選択し、「共有」ボタンを押す。



# 研究協議

- ◆ 方法:各教室をつないだMEET研修
- ◆ 内容:③を中心に協議を行う。(1時間以内)
- ◆ 流れ:10分 説明、振り返り(指導者より)  
40分 協議  
5分 まとめ(指導者より)



# 指導者からのコメント



- ・指導の改善点に気付くことができた。
- ・活動の意味を明確にしたり、その活動が児童にとって効果的なのか吟味することが必要であると感じた。
- ・児童のどこを見るのか、明らかにして要点を落とさず指導していきたい。



- ・2学期の指導について見通しをもつことができた。
- ・児童の見方の偏りに気付いたり、他の先生方がどのような視点で児童を見ているのか勉強になったりした。
- ・実際にライブで指導の様子を観ていただくことは、なかなか難しいので、ICTを活用することができるのはありがたい。

# 指導者からのコメント



- ・自分では気付かなかった視点やまだまだできていなかった部分を知ることができた。
- ・今回学べたことを2学期の指導に生かしていこうと思う。
- ・ライブでの指導の様子ではなく、ICTを活用することは新鮮だった。



- ・児童の様子から、具体的な手立てや、アセスメント方法なども教えていただくことができ参考になった。
- ・児童が「こうやったらできる」と思えるように指導していきたいと思った。
- ・普段の授業を見せ合うことが難しいため、ICTを活用することができて良かった。動画を撮影する際には、少し工夫がいると感じた。

# 指導者からのコメント



- ・生徒の発達段階、生徒の抱える困難について考察し、指導内容に反映することができるようにしたい。
- ・どの内容をねらいにするのかを意識し、生徒の「強み」や「興味関心」から教材作成のヒントが得られた。
- ・通級による指導担当教員ならではの必要な力があるということ意識した。その結果、これまで教員として身に付けている力以外に必要な力が明確となり、自分自身で専門性向上のための研修ができるようになりたいと思った。
- ・移動する時間がなくて、よかったと思ったが、動画の編集にかなり時間が掛かった。

# 振り返り①

- 各自、空いている時間に動画や資料を見ることが出来る。
- 研究協議に時間を掛けることができる。
- 移動時間を省くことができる。
- ▲児童の様子が分かりにくく、撮影に工夫が必要。
- ▲プリント等が見えにくい。
- ▲動画の編集に時間が掛かる。



# 振り返り②

## デジタル

- ・移動時間
- ・時間の有効活用



## アナログ

### ★実際の指導場面

- ・アセスメントの仕方
- ・指導の仕方(手立て)
- ・指導・支援の具体



# (2) 研修会について

## ◆ 目的

- ・通級指導等に関する知識や知見を広げる。
- ・実践をまとめたり、講座を実施したりすることで、自己研鑽に努める。

## ◆ 方法:各教室をつないだMEET研修



# 内容

## オンラインによる研修会の開催について

ICT担当 (R6.6.19)

### 1 推進センターの現状

- ・初めて通級指導担当になった教員や経験の浅い教員が多い。
- ・児童生徒の多様なニーズに応じた指導・支援が難しい。
- ・通級指導に関わる研修の時間確保が難しい。
- ・指導実践をまとめたり、伝えたりする時間や機会が少ない。



### 2 目的

- (受講者) 通級指導等に関する知識や知見を広げる。
- (発表者) 実践をまとめたり、講座を実施したりすることで、自己研鑽に努める。

### 3 具体的内容(例) →7日前までに、C4thで資料を送る。

<p>1 実践発表者</p> <p>写真や動画で顔を出す場合は、保護者の了承を得る。</p>	<p>◆指導実践をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①児童生徒の様子(目標、手立ての設定根拠になること) 目標、手立ての設定根拠だけでなく、家庭、学級、関係機関(放課後等デイサービス、医療、学童)など、その他の様子もまとめる。個人情報 の取扱いには注意する。</li><li>②自立活動の区分と項目</li><li>③長期目標</li><li>④短期目標</li><li>⑤手立て</li><li>⑥指導の経過</li><li>⑦評価(まとめ) など ※動画・写真を入れる。</li></ul> <p>◆内容や資料などについて、各教室で検討・確認する。 ◆資料は、管理職起案を行う。</p>
<p>2 講座</p>	<p>・アセスメント(直音音読検査、はじめの一步、MIM、検査の読み取り)</p> <p>・指導内容(アプリ、教材教具、ビジョントレーニング)</p> <p>・指導法(ひらがな指導、MIM、漢字指導、SST、構音、感情コントロール)</p> <p>・理論(発達心理、認知特性、認知行動療法、応用行動分析)</p> <p>・障害理解(自閉スペクトラム症、ADHD、LD、吃音、かん黙、構音障害)</p> <p>・その他(通級指導、教育相談、合理的配慮、他機関との連携、個別の指導計画作成)</p> <p>◆内容や資料などについて、各教室や推進センター内(C4th可)で検討・確認する。 ◆資料は、管理職起案を行う。</p>

### 4 方法

- ・(水)10:00~12:00 各教室をつないだMEET研修(推進センター向け)
- 【(木)16:00~16:45 MEET研修(市内向け) ※吉田先生と相談が必要】
- ・アーカイブ動画として、アップロードする。

#### 研修実施について

- (1)段階を違った研修にする。①推進センター向け研修→②MEET研修(Share)
- (2)Shareとは別に、継続的な中学校向けの研修を設定する。(例:中学校特支Co. 向け連続講座)

## ①実践発表

- ・通級指導と学級が連携した合理的配慮への道
- ・読み書きに苦手さがある児童の指導

## ②講座

- ・中学校の進路指導について

# 研修会開催までの流れ

- 1 資料を作成する。
- 2 各教室内で検討・確認をする。
- 3 7日前までに、資料を市内メールシステムで送る。 ※各自で資料を印刷する。
- 4 当日：Classroomから研修に参加する。



# ③MEET研修 (share) の実施

## ◆目的

- ・就学前期から学齢期の子どもの発達の道筋や指導法などについての講座を開設し、通級指導、教育実践の向上を図る。
- ・専門性が必要な指導者に対して、研修機会を提供し、特別支援教育推進を図る。



「通級指導」の  
浸透・周知

次世代通級指導  
担当者育成・発掘



# ③shareの実施

- ◆ 方法：MEET研修、参加研修も可能
- ◆ 対象：通級指導担当者、特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーター、その他

◆ 日時：木曜日 16:00～16:40



# share年間計画・内容

回数	内容	備考
1	動作化について	実技指導
2	MIMについて	市内1、2年担任にフォーカシング案内
3	ICT機器を使った読み書き指導について	
4	ICT活用と書字困難	
5	漢字の苦手な児童への指導のヒント	
6	教育相談の心得	
7	応用行動分析の理論と実際	
8	知的障害と心理検査	
9	算数障害の指導	長野県小諸市立坂の上小学校通級担当
10	サポートミーティング(ケース会議)の進め方	
11	障害の理解啓発の授業	
12	特別支援教育の視点を活かした通常学級での授業づくり	小学校教諭
13	発達障害の今日的課題	希望ヶ丘ホスピタル医師 市内養護教諭にフォーカシング案内
14	通級指導担当の醍醐味	高梁市立福地小学校長

# MEET 研修講座

第3回



# share

something with someone

この研修は、就学前期から学齢期の子どもの発達の手順や指導法等について、MEETを使った講座を開設し、教育実践の向上や特別支援教育推進を図っていくものです。



**日時** 令和6年6月13日(木) 16:00~16:40

**場所** 通級指導教室会議室よりオンライン配信

**申し込み** 右の2次元コードまたはURLよりGoogle Formで申し込み

6/11(火)  
締め切り

(URL)

https://



## 内容

『分かった！できた！を目指した  
オーダーメイドの通級指導』  
～個のニーズに応じたデージー教科書、フラッシュカード、  
音声付き読み取り教材などの活用～

講師：通級指導教室

申し込み完了後、MEET研修会当日までにMEETの会議2次元コード及びURL、研修資料を送付します。市内はC4th、市外はメールで送付予定です。

## お問い合わせ

通級指導教室



ありがとう  
かわいいわ  
い子だわ  
うれしいわ  
さだだわ  
さ...とだきしめて

フービーゴ

# share開催までの流れ

- 1 チラシの作成（申込二次元コード）
- 2 市内メールシステムによる案内の送付
- 3 参加者名簿作成
- 4 感想用二次元コード作成
- 5 アンケート集約



Classroomで共有

※内容によるが、Classroomに  
アーカイブ動画をアップロードする。

# 受講者からのコメント



ライブで参加していたが、後で見返したい部分はアーカイブ動画で見ることができたのでよかった。



設定された研修時間に視聴ができなくても、自分の空いている時間に視聴ができるのは、大変ありがたい。



電話番号をしなくても、研修を受けられるのは、オンラインの良さ！

# 受講者からのコメント



今後も、読みや書きに大きな課題のある児童がいて指導法を学びたいと思っている。



スモールステップでの丁寧な指導を繰り返すことの大切さがよく分かり、大変参考になった。



特殊音節の視覚化、動作化はとても参考になった。学級の子どもたちにやってみようと思った。

# 受講者からのコメント



応用行動分析:これこそクラス経営にも授業改革にも直結する内容だった。全教員対象の研修にしてほしい。



子どもの否定的な発言に対することば掛けが大変参考になった。ことば掛けを工夫して成長を促すように心掛けたい。



心理検査:個人内差を見て、得意不得意を見極めながら、これからの支援を考えていくことが大切だと思った。

# (3) 他県の通級指導教室 との情報交換①



令和6年7月17日

『吃音指導について』 群馬県高崎市通級指導教室 夏季研修会

# 振り返り



- 他県の実践は、とても参考になった。
- 他県通級とオンラインでつながり、実践事例を聞かせていただくことができるのは魅力的。
- ▲通信環境の問題があり、音声が届きにくかった。
- ▲機器の準備や接続確認などに時間を要する。

# (3) 他県の通級指導教室 との情報交換②

## 集団での スクリーニング検査の 実施の手続き①

### 学校・保護者への説明

- ・全職員が、「読み」「書き」「計算する」「推論する」の困難さの理解と支援を研修。
- ・スクリーニングの目的を周知。
- ・来入児保護者会で説明。

令和6年10月3日

『算数障害のアセスメントと指導のヒント』

講師：〇〇小学校通級指導教室 〇〇先生

# 受講者からのコメント



他県の通級指導教室の先生のお話をライブで伺えるのは、ICT利用の利点ですね。短時間だからこそ、時間をやりくりして、参加できた方も多いと思う。



数の理解や計算がしやすい方法を探り、学習の遅れが生じないようにトレーニングをする必要があると感じた。ゆっくり丁寧に教えれば何とか理解できるだろうというレベルではない場合、教えていただいたような対応が必要なのかなと考え、新しいことを学んだ。



低学年の段階から分からないまま過ごし、不登校になってしまったお子さんもいた。分からなくて困っている子に早い段階で気付くためのシステムやアセスメント方法の普及が必要だなと思った。

# (4) 大学等の先生の研修会



令和6年12月5日

『発達障害と睡眠』

講師：〇〇ホスピタル 児童精神科 〇〇先生

# 受講者からのコメント



眠れないからゲームに…という観点が今までなかった。ゲームのせいで眠れていないのだと思い込んでいた。違った視点から考えることの大切さに気付かされた。



支援学級の指導に睡眠障害を有する割合が多いことに驚いた。気になる児童の不眠確認を早速していきたいと思った。



睡眠指導でこんなにも学校生活がよくなる子がいるのは嬉しいことだと思った。

# (5) 先進校視察あるいは 受講した研修報告



# 受講者からのコメント



研修に参加することはできなかったが、詳しく内容を聞くことができてよかった。著名な方とつながることができるのは、集合研修のよさだと思った。



学会での情報や様子を知ることができてありがたかった。リンク先も画面上で開いてくださったり、手元の資料を見ることができたりしてよかった。



日程の都合で聞くことができなかった貴重なお話を聞くことができてよかった。



要点を伝えていただくこのような機会をこれからも設けていけるとよい。

# その他の取組

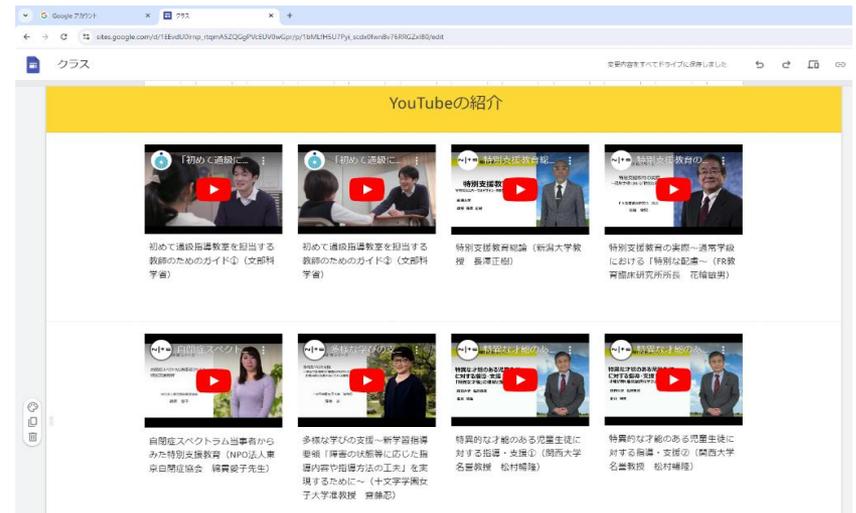
(1) ルーキー研修 (年度初め)

(2) 座談会 (職員研修含む)

# 3 今後の展望

## ◆ポータルサイトの作成

- ・MEET研修講座shareのアーカイブ動画
- ・作成した教材
- ・特別支援教育等に関するYouTube・サイト



# 4 研究3年間のまとめ

- ・初めて通級指導担当になった教員  
経験の浅い教員  
特別支援学級担任などに対して

ICT機器を活用した実践を広める。

情報発信のハブ機能を果たす。

